

Hello, Kids!

小学校英語
情報誌

2009
Vol.3-1

特集:どう使う?『英語ノート』—指導計画と授業プラン



手作り教材で
子どもたちの
意欲を高めて
います。



群馬県
高崎市立
国府小学校
箱田陽子
先生



「伝えたい」
「知りたい」思いを
生かしたチャレンジ活動
でコミュニケーションの
楽しさを味わって
います。

巻頭言 どう使う?『英語ノート』
白畑知彦(静岡大学教授).....2

小学校「外国語活動」教職員研修会のあり方
直井恵子(神奈川県座間市教育委員会指導主事).....3

実践報告 未来の夢を語り合おう
岡田和志(広島県尾道市立栗原北小学校教諭).....4

英語活動を通して育むコミュニケーション能力
牧野里江子(静岡県袋井市立高南小学校教諭).....6

ちょっと一言 白畑知彦(静岡大学教授).....8

Say "Hello" with Alison!
根本アリソン(福島県双葉郡大熊町 外国人英語講師).....8

どう使う? 『英語ノート』

静岡大学教授 白畑 知彦



文部科学省によれば、統計的には、2008年度現在で、全国の97%以上の小学校が、何らかの形で英語活動を取り入れてきているとのこと。しかし、現実には、2009年4月の新学期から、初めて「本格的に」英語活動を実践する先生方も大勢いらっしゃるのではないのでしょうか。また、某出版社の市場調査によれば、高い割合で、小学校教師が来るべき英語活動で「英語を教える」ことに不安を抱いているようです。これはもっともだと思います。今まで「英語の授業」の経験がないのですから、まともにやっていけるかどうか心配になるのは当然です。

年4回発行する本誌Hello, Kids!では、英語活動を行う先生方への応援メッセージをますます充実させて載せていく所存です。さしあたって、今年は『英語ノート』について取り上げます。文部科学省が『英語ノート』という教材を作成し、2009年度には、全国の小学5・6年生に配付することは周知の事実です。これは教科書ではありませんから、最初から最後まで全ページをきちんと教えなければならないといった類のものではありません。したがって、中身を見て、授業で取り扱ってみたいと思う単元から順番に導入していくことは、何ら問題はないでしょう。

以下に、『英語ノート』の使い方について、筆者の思うところを何点か記します。あくまで参考意見としてお読みいただければ幸いです。

まず第一に、付属のCDをかけながら、自分が児童になったつもりで『英語ノート』を何度もくり返し読み、各種の活動を実際に行ってみてください。一人でやるのが大変ならば、他の先生方と一緒に先生役と児童役

になって活動を行うのもよいでしょう。

次に、『英語ノート』には『英語ノート指導資料』というマニュアルがあります。これはなかなかの優れたもので、授業の進め方について大変詳しく解説してありますから、十二分に活用されることをお勧めいたします。また、つい最近、開隆堂から『英語ノート 完全対応指導ハンドブック』という、『英語ノート指導資料』の内容をさらに簡潔にわかりやすく解説した参考書が出版されました。これらを利用して授業の組み立てを考えていくのはとてもよいことだと思います。

そして、とにかく授業を試してみることをお勧めします。その際に、これまでご自身が習ってきた英語の授業方法とはかなり違うということを自覚することが大事です。皆さんの受けられた英語の授業が間違っていたという意味ではありません、念のため。目指す方向性が違うのだということを知っていただきたいという意味です。

最後にどうしても付け加えておきたいことが1つあります。それは、どの参考書も研修会での名授業も、所詮「参考」にしか過ぎないということです。なぜならば、皆さんの学校の児童は他の学校の児童とは個性が違い、同じ教え方が必ずしも合致するとは限りませんし、研修会で実演してくださった有名な先生と皆さんとでは、性格も考え方も経験も違うのですから。

いろいろな情報や参考書を基に、最終的には(つまり、数年先には)自分で授業を作っていかなければならなくなると思います。最初のうちは大変でしょうが、高い倍率を突破して教員になられた先生方には、英語活動の授業運営をしていけるだけの十分な底力が備わっているものと確信しています。

私の 地域の 取り組み

小学校「外国語活動」 教職員研修会のあり方 ～学級担任を支えるために～

神奈川県座間市教育委員会指導主事 直井 恵子



小学校学習指導要領が改訂され、小学校に「外国語活動」が新設されました。「コミュニケーション能力の素地」を育成するという小学校外国語活動の目標が示されたことを踏まえ、本市では6月に「座間市小学校外国語活動推進プラン」を策定し全ての学校に示しました。

外国語活動を成功させるためには、これまで総合的な学習の時間に行ってきた外国語活動のカリキュラムを基に、学級担任を支えるための効果的な教材や活動についてどのように考えていったらよいか、またコミュニケーション活動を行う際に注意すべき点は何なのかといったことを学校と協力しながら考えていくことが大切です。

本市が策定した推進プランの中から「学級担任を支えるための研修会」についてお話しをしようと思います。

市で行われている研修会において活躍しているのが、学校に1名いる「小学校英語中核教員」です。中核教員を中心に、「英語教育推進会議」を年3回計画しました。もちろん、小・中の連携を考え、この会議には中学校の英語科の教員にも参加していただきました。3回の会議では外国語活動に関する国・県・市の動きを確認するとともに、学習指導要領のねらいについても共通理解を図りました。中学校の英語科の先生方に参加していただいたことで、教員同士のおもしろい動きがありました。今まで小学校の外国語活動の授業を参観したことがなかった中学校の先生から、「小学校の外国語活動の授業を見てみたい」という声があがったのです。こうした中で、中学校の先生が小学校の授業を参観したり、さらには小学校で英語の授業を行ったりする等の動きが始まったのです。

夏には外国語活動に関する講座を開催しました。「教室で使える英会話レッスン」には、多くの小学校の先生

方が参加しました。中学校の英語科の先生方にも12名参加していただきました。中学校の先生方にご自分の経験から、児童とともに楽しく学べるゲームやコミュニケーション活動についてお話ししていただきました。

また、6月には中学校において1学年の授業公開をしていただき、その授業を小・中学校の先生方とともに参観した後、研修会を開催。10月には小学校において『英語ノート』を使用した6学年の授業公開をしていただき、小・中連携の協議会も実施しました。

さて、今後のために本市として進めていることが2つあります。まず、文部科学省から配付される『英語ノート』の効果的な活用について。そしてそのために各学校に教材・教具等の整備をしていくことです。

『英語ノート』の活用については小・中連携を考える上では大変重要であると考えています。『英語ノート』で示された2年間のカリキュラムは中学校に繋がるものです。したがって、本市の小学校はこの『英語ノート』を効果的に使用していきたいと考えています。そのために今年度中には担当指導主事が全ての小学校を訪問し、『英語ノート』を紹介するとともに、今後の効果的な使用方法について説明をする予定です。

また、学級担任を支援するためには、教材・教具を整えていくことが喫緊の課題です。文部科学省から『英語ノート』付属の音声CDやICT教材の電子黒板ソフト等が配付される予定ですので、それを活用するための電子黒板等を各学校に整備していきたいと考えています。

今まさにスタート地点に立った「外国語活動」ですが、成功させるためには市としての方向性をしっかりと示すことが大切だと思います。地域、学校、子どもたちの状況を十分に把握しながら支援してまいります。



広島県尾道市立栗原北小学校教諭 岡田 和志

1. 本校の英語活動が目指すもの

本校の英語活動では、(1)英語に慣れ親しむ力 (2)明確な自己表現力の力 (3)相互理解の力 (4)異文化理解の力の4つを、児童につけることをねらいとしています。そのため、各学年の到達目標と年間の活動計画を設定し、日常的に実践しています。

例えば6年生は、修学旅行で行う留学生との交流会や、英語活動のまとめとして英語で未来への夢を語り合う活動に向け、1学期は「友だちを紹介しよう」「インタビューをしよう」、2学期は「交流会を開こう」「留学生を紹介しよう」、3学期は「友だちとの会話を楽しもう」「どんな人になりたい?」そして、「未来への夢を語り合おう」という活動の流れになっています。

2. 活動計画(第6学年)

(1)単元名 未来への夢を語り合おう(全4時間)

(2)単元のねらい

①未来への夢を英語で表現することを通して、英語への関心を高める。

必然性・必要性を持たせるための手立てとして、「未来への夢」を具体化するために「夢」からイメージをふくらませ「Image Map」を作らせました。その意図は、理由を明確にするためです。また、英語での健康観察^{注1}でのやりとりやInterview Game^{注2}などを取り入れて、使える英語表現を増やし、発表に意欲を持たせました。

②学習した英語表現や言語技術を活用し、自分自身の考え方を明確に表現する。

自分の考えをまとめ、豊かに表現するために、使える文型を示したり、活動の記録を残し、前時とのつながりを持たせました。これにより児童は、英語の発話に自信を持つことができました。

③友だちの夢を聞くことを通して、相互理解する。

コミュニケーションの楽しさが味わえる場面を多く設定することで、お互いをわかり合おうとする態度を育てることができると考えました。

- ・ Rock-scissors-paper Game^{注3}
- ・ Interview Game
- ・ 友だち紹介^{注4}
- ・ 英語での意思表示



(3)指導計画 (全4時間 本時4/4)

時	活動内容
1	・ 自分を見つめ、夢を決める。 ・ 夢の内容を、イメージマップでふくらませる。
2	・ 1人で練習する。 ・ グループで練習する。(肯定的な相互評価)
3	・ 第一次発表会(夢の理由を自信を持って話す)
4	・ 第二次発表会(夢の理由を表情豊かに話す)

(4)本時の目標

- ①学習した英語表現や言語技術を活用し、自分自身の夢や考え方を明確に表現させる。
- ②友だちの夢を聞くことを通して、相互理解しようとする態度を育てる。

(5)展開

Procedure	Activities	
	HRT	Pupils
1 Greetings and Warming-up (Rock-scissors-paper Game)	○児童と一緒に楽しむ。	・ 元気に楽しむ。
2 HRT Short Story	○児童のつぶやきなどを肯定的にとらえ、ほめる。	・ 理解できたことを発表する。
3 Today's Topic (That's my dream.)	○児童の様子や話を観察し、肯定的な評価をする。	・ 習得した英語表現を使って、自信を持って話す。
4 How about today's lesson?	○積極的な振り返りをするよう促す。	・ 積極的な振り返りをする。
5 Greetings and Shaking Hands	○挨拶を交わしながら、児童一人ひとりをほめる。	・ 笑顔で話しながら握手をする。

3. おわりにかえて

本題材は、小学校卒業を間近に控えた児童が、「未来への夢」を語り合うことをテーマとして設定したものです。中学校という新たな社会へ向けての不安や期待の入り交じる中、「未来への夢」を考え、発表したことは、自分自身を見つめなおし、考えを明確にするきっかけとなったようです。豊かな表情で、堂々と発表した児童の姿に、それを感じました。



児童のスピーチから

I want to be a teacher of baton twirler.
I have two reasons.
The first, I want to participate a world baton meeting.
The second, I want to impress people with my performance.
That's my dream. Thank you. KANA

I want to make the world peaceful.
I have two reasons.
The first, there are many crimes and I want to get rid of them in the world.
I want people to give peace to the world.
That's my dream. Thank you. KOKI

注

注1 英語での健康観察

HRT	Pupils
・ Hello, Yuko.	・ Hello, Mr. Okada.
・ How are you?	・ I'm happy. Because I have a nice lesson today.
・ Good. / Sorry.	・ I'm tired. Because I went to bed late last night.

注1 Interview Game …決められた時間の中で、友だちや HRT、ALT と会話を交わすゲームです。約束は、BESTRYS。B: Big voice E: Eye contact S: Smile T: Thank you. R: Really Y: Yes S: Shake hands

注2 Rock-scissors-paper Game …元気にじゃんけんをします。勝ったら自分のネームカードを取ることができます(雰囲気作りとして効果的です)。

注3 友だち紹介…ペアになった友だちのことを、他の友だちに紹介していきます。事前に、紹介する友だちに取材をさせておくこと通りの紹介にならず、児童も意欲を持って活動します。



静岡県袋井市立高南小学校教諭 牧野 里江子

1. 英語活動がやってきた!!!

本校は、平成17年度9月より静岡県教育委員会の「小学校英語活動推進事業」の研究指定校として英語活動をスタートしました。平成19年度からは文部科学省の「英語活動等国際理解推進事業」拠点校の指定を受け、全学年で英語活動を進めてきました。

英語活動を始めたばかりの頃は、年間カリキュラムがなく、「何をどのように進めたらよいか」「必要な物は何か」などわからないことばかりでした。しかし、とにかく全職員で英語活動の研修に取り組みました。今では、「なんで小学校で英語をやらなくてはいけないの?」とっていた先生方も、「自分が楽しんでやると、子どもたちも乗ってきて、どんどん楽しくなってきた。」という声が聞かれるようになりました。

2. やってみよう!!! 英語活動

英語活動を始めるときにまず困ることは、何から始めればよいかわからないことだと思います。しかし、来年度は、文部科学省より全小学校の5、6年生に『英語ノート』が配布されます。『英語ノート』には、1学年につき年間35時間分の指導案が取り上げられています。2学年合わせれば、年間70時間の指導案を参考にすることができます。そこで、これから英語活動を始める小学校は、『英語ノート』の中から子どもの実態に合った活動を選んで、先生方のアイデアを加えながら実践してみるとよいと思います。『英語ノート』をうまく活用していけば、先生方の負担も軽減されると思います。本校でも、これまでの実践に『英語ノート』を効果的に取り入れて、授業を展開してみました。

3. 『英語ノート1』(Lesson 5)の実践

～単元名 すてきだね、きみの服!～

(1)展開の工夫

これまでの英語活動で慣れ親しんだ色、形、服の言い方や世界のあいさつや食べ物についての活動を生かして、世界の民族衣装を紹介している本単元を実践してみました。

『英語ノート』では、韓国と中国の民族衣装を紹介していますが、さらに総合的な学習の時間で、世界の民族衣装を本やインターネットで調べたり、国際交流会を開いたりすることにしました。いろいろな国(中国・インドネシア・ケニア・ベトナム)の人と交流するなかで世界の多様な生活様式に関心を高めることができました。交流会後の英語活動では、各自で調べた民族衣装を積極的に紹介し合うことができました。このように小学校英語活動では、他教科や行事などと関連させて相乗効果を生ずるよさがあります。

児童の感想

- ・私は、インドネシアの踊り、お金、人形、衣装などを見せてもらえてとても楽しかったです。インドネシアは、とても伝統的なところなんだと思います。日本の100円がインドネシアでは8,000円というのがすごく驚きました。
- ・ケニアのスワヒリ語と日本語はとても似ていてびっくりしました。一番心に残ったのは、お父さんはスワヒリ語で「ババ」と言うことです。日本ではおばあちゃんなのに同じ発音でも意味はすごい違うんだなと思いました。



(2)教材・教具の工夫

英語活動を子どもにとって魅力あるものにするためには、教材・教具の準備が大切になります。本単元では、『①いろいろな国の衣装を知ろう。②オリジナルの服を作ろう。③欲しい物は何ですか。④買い物しよう。⑤自分の服を紹介しよう。』という流れ(全5時間)で単元を展開しました。

まず、会話の中で必要になってくるのは、色と衣服の言い方です。子どもたちは、ALTが話す英語の音と絵カードから、英語の意味を理解していきます。そこで準備したのは、色カードと切り抜きの衣服カードです。いろいろな色カードに切り抜きの衣服カードを上重ね合わせます。各1セットずつあれば、いろいろな色の衣服を表現することができます。



オリジナルの服を作る場面では、友だち同士で好きな色をインタビューし合い、お互いに相手が気に入る服を作るようにしました。友だちが作ってくれた服を見て、自然と「It's cool!」「It's cute!」など、お互いにほめ合う言葉が聞かれました。「みんな違って、みんないい」という温かい雰囲気になりました。

次に、友だちの作ってくれた服の中から、自分のお気に入りの服を選ぶので、自分をモデルにした絵にその服を合わせられるようにすれば、子どもはより意欲的に服を選ぶだろうと考えました。『英語ノート』に服を貼れる男の子と女の子の絵があるので、それを子どもの顔写真に変えて活用しました。

まとめの時間では、視覚的にわかりやすいようにその台紙を持ちながら発表(Show and Tell)することで、発表したり、聞いたりしやすくなり、お互いの服のすてきなところを認め合う場になりました。



4. Yes, We Can!!!

英語活動の計画を立てたり、教具の準備をしたりすることは、全教科を指導している小学校教員にとっては、大変負担になります。しかし、子どもたちが楽しそうに友だちと英語で会話している姿を見ると苦労したことも忘れてしまいます。些細なことでもけんかをしたり、文句を言ったりすることも多かったクラスが、英語活動で自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを聞いたりする活動を通して、コミュニケーションを図ることの楽しさを味わい、友だちとのかわりを楽しむ姿が見られるようになりました。授業の後に「今日の英語は楽しかった!」と子どもが笑顔で言うと、やってよかったと感じます。担任がALTと楽しそうに活動している姿を見れば、子どもたちにも英語表現としては完璧ではなくても、英語で話してみたいという気持ちが溢れてきます。子どもとともに、英語活動を楽しんでいきましょう。Yes, We Can!!!

ちよつと一言

第1回—英語の歌

英語活動ではよく英語の歌を歌います。歌を歌うことは、英語を声に出して発声する練習になるし、イントネーションやリスニングの練習にもなりそうですから、とてもよさそうな気がします。そこで、今回はこの英語の歌について、ちょっと一言述べたいと思います。

まず、授業ではどのような歌が歌われているのでしょうか。私が授業を見学した際に聞いた歌や、市販されている書物に掲載されている歌から判断すると、5、6年生の知的レベルでは少々幼稚だと思われる歌もあります。出版物に関して言えば、著作権という重大な問題が発生するため、最近の歌は載せられないという問題があります。

そこで、1つ提案なのですが、皆さん(先生方)が一番好きな、(青春の)思い出が一杯詰まった歌を、子どもたちの前で披露してみたいかですか。なぜ先生はその歌が好きになったのか、どんな内容の歌なのか、歌手はどこ出身の人で、時代背景はどんなだったのか、熱く語るのです。先生の本当の言葉だから、子どもたちはきっと真剣に耳を傾けてくれるはず。時間が許せば、子どもたちに、どんな英語の歌が好きなのか聞いてみるのもよいと思います。高学年にさしかかる頃には、好きな洋楽の1つや2つ持っている子は増えてきています。そして、なぜその歌が好きなのか、みんなの前で話してもらってはいかがでしょう。ただ単に教えられた歌を歌うよりも、子どもたちの知的興味は増す気がします。こういう切り口からも異文化体験はできるでしょう。歌詞を全部覚えられなくても気にすることはないのです。だって、英語活動であり、英語科の授業じゃないのですから。

白畑 知彦(静岡大学教授)

Say "Hello" with Alison!

根本 アリソン



イギリス出身・1989年より福島県で英語講師として活躍中

■School Life in England (1)

Hello, everyone! 今年もまたHello, Kids! 与您一緒に嬉しく思います。私は毎日、福島県の小さな町で2つの小学校の1~6年生と一緒に楽しく外国語活動をしています。今年全国的に「外国語活動」も始まります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年イギリスの学校生活について、特に日本と違うところを中心に紹介しています。今回は教育制度と1年間の流れについてお話しします。

日本の教育制度は、小・中・高の3つに分かれていますが、イギリスでは大きくPrimary School(5~11歳の7学年)とSecondary School(12~18歳の7学年)の2つに、さらにPrimary SchoolはInfants(5~7歳)とJuniors(8~11歳)に分かれます。現在イギリスの義務教育は5~16歳となっているので、18歳まで通う学生は全体の半分ほどです。しかし、アルバイトをしながら専門学校などに通う学生が多くいることから、国では義務教育を18歳まで延長することを検討しています。

イギリスの学校の1年間の流れはアメリカや他のヨーロッパの国と同様で1学期(Autumn Term)は9~12月、2学期(Spring Term)は1~3月、3学期(Summer Term)は4~7月となっています。学校の休みはそれぞれの教育委員会により異なりますが、冬休みと春休みは2週間、夏休みは6週間あります。学期の真ん中の週も休みとなります。イギリスの小学生の1年間の授業日数は、日本の子どもたちとほぼ同じで195日あります。

次回はイギリスの小学校の学校行事などについて紹介します。See you again next time!

(福島県双葉郡大熊町 外国人英語講師)

小学校英語情報誌

Hello, Kids!

Vol.3-1(通巻9号)

定価120円(本体114円)

送料80円

平成21年3月5日印刷 平成21年3月10日発行(年4回発行) 編集兼発行人 山岸 忠雄

印刷所 株式会社興陽社 〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8

発行所 開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1

☎03(5684)6121(営業)、(5684)6118(販売)、(5684)6115(編集) <http://www.kairyudo.co.jp>



開隆堂出版株式会社

〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎03(5684)6111

北海道支社	〒060-0061	札幌市中央区南一条西6-11	札幌北辰ビル8階	☎011(231)0403
東北支社	〒983-0043	仙台市宮城野区萩野町1-11-1	萩野町Mビル2階	☎022(782)8511
名古屋支社	〒464-0802	名古屋市千種区星が丘元町14-4	星が丘プラザビル6階	☎052(789)1741
大阪支社	〒550-0013	大阪市西区新町2-10-1	F Y Cビル3階	☎06(6531)5782
九州支社	〒810-0075	福岡市中央区港2-1-5	F Y Cビル3階	☎092(733)0174